2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	理学療法技術論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60　(3)　時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室　機能訓練室
担 当 教 員	専任教員(オムニバス)	実務経験とその関連資格	理学療法士として臨床現場で理学療法を実施していた			

《授業科目における学習内容》

多岐にわたる理学療法の対象の中で、代表的な疾患別の基本的な理学療法プログラムについて学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

単元毎のOSCE評価100%　　その他授業への参加態度や学習へ向かう姿勢なども場合によって査定対象とする

《使用教材(教科書)及び参考図書》

理学療法ハンドブック 改訂第4版 第3.4巻(協同医書出版社)
臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編 第2版補訂版

《授業外における学習方法》

授業を理解するために予習・復習を通して、自主的に調べ学習をすること。

《履修に当たっての留意点》

前半は教科書および配布資料を中心に講義を行います。後半はDVDおよび配布資料を中心に実技を行います。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	理学療法評価の実践を想定したOSCEについて理解する	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 脳血管障害の運動療法について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	OSCEオリエンテーション		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	理学療法評価の実践を想定したOSCEについて理解する	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 脳性麻痺のアプローチ方法について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	OSCEの模擬体験		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーション、療法士面接、血圧測定が行える	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 切断のリハビリテーションについて復習する 30分
		各コマにおける授業予定	コミュニケーション、療法士面接、血圧測定　の演習①		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーション、療法士面接、血圧測定が行える	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 腰痛の病態・評価・理学療法について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	コミュニケーション、療法士面接、血圧測定　の演習②		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーション、療法士面接、血圧測定が行える	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 骨折の分類・治療について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	コミュニケーション、療法士面接、血圧測定　のOSCE①		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーション、療法士面接、血圧測定が行える	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 関節リウマチの症状・治療について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	コミュニケーション、療法士面接、血圧測定 のOSCE②		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患・症例を想定した、適切な移乗介助方法が行える	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 末梢神経損傷の理学療法について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	疾患・症例を想定した、適切な移乗介助方法 の演習①		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患・症例を想定した、適切な移乗介助方法が行える	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 頚肩腕症候群の臨床症状・治療について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	疾患・症例を想定した、適切な移乗介助方法 の演習②		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患・症例を想定した、適切な移乗介助方法が行える	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 変形性関節症の症状・治療について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	疾患・症例を想定した、適切な移乗介助方法 のOSCE①		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患・症例を想定した、適切な移乗介助方法が行える	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) スポーツ外傷と障害、理学療法について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	疾患・症例を想定した、適切な移乗介助方法 のOSCE②		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患・症例を想定した、適切なROM-T・MMTが行える	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 脊髄損傷の理学療法と環境整備について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	疾患・症例を想定した、適切なROM-T・MMT の演習①		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患・症例を想定した、適切なROM-T・MMTが行える	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 呼吸器疾患の各種呼吸理学療法について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	疾患・症例を想定した、適切なROM-T・MMT の演習②		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患・症例を想定した、適切なROM-T・MMTが行える	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 心血管疾患リハビリテーションについて復習する 30分
		各コマにおける授業予定	疾患・症例を想定した、適切なROM-T・MMT のOSCE①		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患・症例を想定した、適切なROM-T・MMTが行える	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 糖尿病の症状・合併症・治療について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	疾患・症例を想定した、適切なROM-T・MMT のOSCE②		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患・症例を想定した、適切な筋緊張検査が行える	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) パーキンソン病の病態や治療について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	疾患・症例を想定した、適切な筋緊張検査 の演習①		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	理学療法技術論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60　(3)　時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室　機能訓練室
担 当 教 員	専任教員(オムニバス)	実務経験とその関連資格	理学療法士として臨床現場で理学療法を実施していた			

《授業科目における学習内容》

多岐にわたる理学療法の対象の中で、代表的な疾患別の基本的な理学療法プログラムについて学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

単元毎のOSCE評価100%　　その他授業への参加態度や学習へ向かう姿勢なども場合によって査定対象とする

《使用教材(教科書)及び参考図書》

理学療法ハンドブック　改訂第4版　第3.4巻(協同医書出版社)
PT・OTのための臨床技能とOSCE　コミュニケーションと介助・検査測定編

《授業外における学習方法》

授業を理解するために予習・復習を通して、自主的に調べ学習をすること。

《履修に当たっての留意点》

前半は教科書および配布資料を中心に講義を行います。後半はDVDおよび配布資料を中心に実技を行います。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患・症例を想定した、適切な筋緊張検査が行える	指定テキストおよびDVD 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストで確認　30分 (事後学習) バイタルサイン・測定方法について復習する　30分
		各コマにおける授業予定	疾患・症例を想定した、適切な筋緊張検査　の演習②		
第17回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患・症例を想定した、適切な筋緊張検査が行える	指定テキストおよびDVD 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストで確認　30分 (事後学習) 転倒予防について復習する　30分
		各コマにおける授業予定	疾患・症例を想定した、適切な筋緊張検査　のOSCE①		
第18回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患・症例を想定した、適切な筋緊張検査が行える	指定テキストおよびDVD 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストで確認　30分 (事後学習) 三角巾の装着方法について復習する　30分
		各コマにおける授業予定	疾患・症例を想定した、適切な筋緊張検査　のOSCE②		
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患・症例を想定した、適切な片麻痺機能検査/深部腱反射が行える	指定テキストおよびDVD 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストで確認　30分 (事後学習) 下肢装具の装着方法について復習する　30分
		各コマにおける授業予定	疾患・症例を想定した、適切な片麻痺機能検査/深部腱反射　の演習①		
第20回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患・症例を想定した、適切な片麻痺機能検査/深部腱反射が行える	指定テキストおよびDVD 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストで確認　30分 (事後学習) 車椅子の駆動介助方法について復習する　30分
		各コマにおける授業予定	疾患・症例を想定した、適切な片麻痺機能検査/深部腱反射　の演習②		

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患・症例を想定した、適切な片麻痺機能検査/深部腱反射が行える	指定テキストおよびDVD 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストで確認　30分 (事後学習) 移乗方法について復習する　30分
		各コマにおける授業予定	疾患・症例を想定した、適切な片麻痺機能検査/深部腱反射　のOSCE①		
第22回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患・症例を想定した、適切な片麻痺機能検査/深部腱反射が行える	指定テキストおよびDVD 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストで確認　30分 (事後学習) 自動・他動ROMの測定方法について復習する　30分
		各コマにおける授業予定	疾患・症例を想定した、適切な片麻痺機能検査/深部腱反射　のOSCE②		
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患・症例を想定した、適切な筋感覚検査が行える	指定テキストおよびDVD 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストで確認　30分 (事後学習) 筋力の測定方法・判定について復習する　30分
		各コマにおける授業予定	疾患・症例を想定した、適切な感覚検査　の演習①		
第24回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患・症例を想定した、適切な筋感覚検査が行える	指定テキストおよびDVD 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストで確認　30分 (事後学習) 計測方法や注意点について復習する　30分
		各コマにおける授業予定	疾患・症例を想定した、適切な感覚検査　の演習②		
第25回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患・症例を想定した、適切な筋感覚検査が行える	指定テキストおよびDVD 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストで確認　30分 (事後学習) 検査方法や注意点について復習する　30分
		各コマにおける授業予定	疾患・症例を想定した、適切な感覚検査　のOSCE①		
第26回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患・症例を想定した、適切な筋感覚検査が行える	指定テキストおよびDVD 配布資料(適宜)	(事前学習) 模擬患者について確認　30分 (事後学習) レポート作成　30分
		各コマにおける授業予定	疾患・症例を想定した、適切な感覚検査　のOSCE②		
第27回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	整形疾患を想定した、理学療法評価全般が行える	指定テキストおよびDVD 配布資料(適宜)	(事前学習) 模擬患者について確認　30分 (事後学習) レポート作成　30分
		各コマにおける授業予定	整形疾患を想定した、理学療法評価全般　の演習		
第28回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	整形疾患を想定した、理学療法評価全般が行える	指定テキストおよびDVD 配布資料(適宜)	(事前学習) 模擬患者について確認　30分 (事後学習) レポート作成　30分
		各コマにおける授業予定	整形疾患を想定した、理学療法評価全般　のOSCE		
第29回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脳血管疾患を想定した、理学療法評価全般が行える	指定テキストおよびDVD 配布資料(適宜)	(事前学習) 模擬患者について確認　30分 (事後学習) レポート作成　30分
		各コマにおける授業予定	脳血管疾患を想定した、理学療法評価全般　の演習		
第30回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脳血管疾患を想定した、理学療法評価全般が行える	指定テキストおよびDVD 配布資料(適宜)	(事前学習) 模擬患者について確認　30分 (事後学習) レポート作成　30分
		各コマにおける授業予定	脳血管疾患を想定した、理学療法評価全般　のOSCE		